

中2

数学

ポイント

名前 _____

合同な図形

____ 月 ____ 日

まとめ 合同な図形

教科書 P.111~P.117

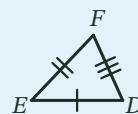
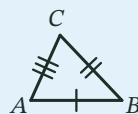
基本

合同な図形では、対応する辺の長さ・角の大きさはそれぞれ等しい。2つの三角形は、次の3つの合同条件のどれかが成り立てば合同である。

例

(1) 3組の辺がそれぞれ等しい

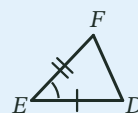
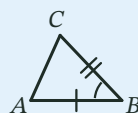
$$AB = DE, BC = EF, CA = FD$$



同じ印の辺どうしが等しい

(2) 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

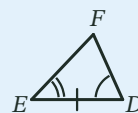
$$AB = DE, BC = EF, \angle B = \angle E$$



角は、等しい2辺の「間」の角

(3) 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい

$$AB = DE, \angle A = \angle D, \angle B = \angle E$$



角は、等しい辺の「両端」の角

(4) 仮定と結論

「○○○ ならば □□□」の ○○○ を仮定、□□□ を結論という。

$\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ ならば $AB = DE$ … 仮定は

$\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ 、結論は $AB = DE$

証明は、仮定から出発して結論を導く

